

2024年度 学校法人イエス団甲子園二葉幼稚園自己評価シート

1 甲子園二葉幼稚園の教育目標

キリスト精神に基づき、「人を愛する心」「自然を愛する心」「真理を求める心」が一人ひとりの成長に合わせて育まれ、神と人に愛される人を育成することを目的とする。

2 本年度に定めた重点的に取り組む学校評価の具体的な目標

- ①キリスト教保育
- ②子ども中心の保育
- ③異年齢保育

3 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果
①キリスト教保育	子どもは神様に愛された「大切なひとり」であることを日々の礼拝の中で語られ、そのことを受けて保育の中で実践をした。また教職員ひとりひとり、さらには保護者たちも「大切なひとり」であることを念頭に置きながら、園運営を行うよう心がけた。
②子ども中心の保育	子どもが頭の中で考えていることに沿って援助し、子ども自らが遊びの中で見つけて、試して、考え、感じることを大切にした。教諭が答えや指示を中心にするのではなく、子どもたちが考えることを大切にしている。
③異年齢保育	年齢の異なる子どもたちがクラスで一緒に過ごすことで、自然と育まれる援助の精神、またまねびの精神などがよく見られた。そのような異年齢の中で育まれること踏まえながら、同年齢の中での育ちも大切にしたい。

4 2024年度学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

甲子園二葉幼稚園が持つ教育的雰囲気は、キリスト教保育に基づいた子ども中心の保育の中で日々働く教職員によって長年培われてきたものである。その教育が信頼され、この地域において長きにわたり教育を継続できていることは感謝すべきことである。しかしどの教育現場にも常に課題があるように、当園においても解決すべきことはあるので、謙虚な思いをもって、子どもたちのために、新しいことを学びながら、実践に結び付けていきたい。

5 今後取り組むべき課題

課題	具合的な取り組み状況
子どもを見る目、遊びを見る目を養う	・子どもの発達を踏まえた遊びを中心におき、子どもの姿をしっかりと捉え、遊びの充実を図るよう、事例検討等を通して保育力を磨いていく。
研修の充実	・園内研修の充実及び外部研修を活用し、目的を明確にしながら、計画的に研修を進めていきたい。
インクルーシブ保育の充実	・異年齢クラス編成の中で、違いを認め合い、共に育ち合う仲間として、すべての子どもたちの成長を願う。

組織運営体制の確立	<ul style="list-style-type: none">・教職員体制の課題が明確化された中で、組織の中での個々の役割や課題を再認識する。・勤務時間管理を含め、教職員の就業における課題を再確認する。
施設整備計画の検討	<ul style="list-style-type: none">・園庭については、リスクマネージメントの視点をもち、園児にとって安心で安全な環境を提供していくことができるよう十分な話し合いを持って検討する。・既存園舎の内部改装及びトイレ改修、エレベーター、厨房について長期的な計画を立て、検討する。

6 学校関係者の評価

監事監査会及び評議委員会に対し報告を行ったが、特に指摘すべき事項はなく適正との評価を得た。

7 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。

8 情報の公開

法人のホームページ及び自園のホームページに掲載。アドレス…<https://futaba-kjesusbard.jp/>